

令和5年2月  
(2023年)  
第84号

IMARI SHIGIKAI NEWS



# 伊 | 万 | 里 市議会だより

鬼火焚き(脇田町 平山区)

## いまりで、決まり!

市議会のホームページは「伊万里市議会」  
で検索、または右の二次元コードからご覧  
ください。



令和5年第1回定例会は、3月1日(水)開会予定です。

## 第4回定例会 令和4年12月1日(木)～12月21日(水)

上程された議案のうち、「議案甲第45号 第6次伊万里市総合計画基本構想の変更及び後期基本計画の策定について」は一部修正のうえ可決、それ以外の議案は全て原案通り可決及び承認しました。

### 令和4年度一般会計予算

12月補正額	22億4,053万0,000円
予算総額	333億6,143万2,000円

## 意見書を全会一致で可決しました

- ・子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書：国へ
- ・佐賀県の子どもへの医療費助成制度の拡充を求める意見書：県へ

### 提案理由

子育て世代が経済的な心配をせずに子どもを産み育てられる環境づくりが求められており、中でも子どもの医療費は子育て世代にとって負担が重い、親の経済状況に左右されることなく全ての子どもたちが必要な医療を受けられる環境が必要です。

佐賀県では未就学児の医療費の半額を助成がなされていますが、小学生以上については市町がその全てを負担しています。県内市長会からも毎年要望が出されているように、助成の範囲を広げるよう要請します。

また国に対しては、都道府県毎で助成範囲に差があるため、全国統一の制度とするよう求めます。

## 議会運営委員会視察報告 令和4年8月17日(水)～8月19日(金)

### \*福岡県春日市議会

- ① オンライン議会報告会
- ② 議会のICT化

### \*京都府丹波市議会

- ① 丹波市議会☆ミライプロジェクト
- ② 議会広報紙『たんばりんぐ』
- ③ 予算決算常任委員会の設置
- ④ 常任委員会委員長の引継ぎの制度化

### \*兵庫県西脇市議会

- ① 議選監査委員
- ② オンライン予算公聴会



## 議員研修会報告 令和4年12月19日(月)

今年第2回定例会で問題提起された「予算の分割付託の是非」についての基本的な事項について学ぶため、元全国市議会議長会法制参事で、(株)地方議会総合研究所取締役社長である廣瀬和彦先生によるオンライン研修会を行いました。

今回の学びを、今後の議会活動に活かしていきます。

## 市職員、段階的に定年延長

平均寿命の伸長や少子高齢化の進展を踏まえ、豊富な知識・技術・経験等を持つ高齢期の職員に最大限に活躍してもらうため、国で法改正が行われています。これにより、地方公務員法等が改正され、国家公務員に準じて定年年齢が上げられることに伴い、新たな制度や定年・給与等の条例を改正します。

### ○定年年齢の段階的引上げ

職員の定年は、令和5年4月から2年に1歳ずつ段階的に上げられます。このため、定年退職者は2年ごとに生じることになります。

昭和38年度生まれで現在59歳の職員は、令和6年度末に61歳で定年退職となり、最終的に、令和13年度から65歳定年となります。

### ○管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）

管理職職員（部長、課長、一部の副課長）は、原則として、60歳になった次の年度には、管理職以外の職に降格されます。ただし、特別な事情がある場合は、引き続き管理職として任用することが可能となります。

### ○60歳に達した職員の給与

60歳に達した職員の給料月額、次年度に就く役職等の給料月額の7割に減額されます。

なお、管理職で役職定年により降任された職員は、管理職時の給料の7割が支給されます。

### ○60歳に達した職員の退職手当の取扱い

退職手当は、61歳以降に減額された給料額を退職手当の算定に適用せず、定年引上げ前の60歳までの給料額で退職金が算定され、支給されます。

### ○情報提供・意思確認制度の新設

情報提供・意思確認制度とは、職員が59歳の年度に、60歳以降の任用、給与、退職手当等についての情報を提供し、60歳以降の勤務の意思を確認するものです。

### ■質疑

来年度から令和14年度までの2年ごとの段階的定年引上げが完了するまでは、職員の採用計画に影響が出るのではないか。

### 回答

職員の採用計画には、段階的定年引上げによる影響が間違いなくあると思っているが、中長期視点から必要な職員数は確保していかなければいけない。また、2年ごとにしか定年退職者が出ないので、採用を前倒しして平準化を図っていき、年齢バランスを考えながら採用計画を作っていかなければいけないと考えている。

## ふるさと納税、昨年を上回る見込み

今年度の当初予算では、年間寄付額を20億円と見込んでいましたが、インターネット上の寄付サイトを拡大したこと、また、返礼品の数を充実したことなどにより、昨年に比べ寄付額が大きく上回っています。このため、今年度の寄付見込み額を、昨年の寄付額27億円を上回る28億円に上方修正し、寄付の返礼に要する経費として4億4,824万8千円を追加します。

### ■質疑

円安などの影響で物価高騰が続いているが、返礼品の納入業者が無理をされているのではないか。また、物価高騰の影響があると思うが調整や話し合いなど行われているか。

### 回答

返礼品の価格設定は納入業者が決められており、物価高騰により設定価格に無理が生じれば変更して頂き対応していく。また、納入業者とのふるさと納税の返礼品の定期更新を年間4回行っている。その際に、設定金額や商品の変更がないか確認を行いながら随時対応している。

### 行政視察（10月31日～11月2日）

- 青森県三沢市（防災について）
  - ・災害に強いまちづくり市民提案事業
  - ・災害時支援協定、福祉避難所の協定
  - ・総合防災訓練
- 青森県六ヶ所村
  - ・核燃料サイクル施設
- 青森県八戸市（防災について）
  - ・自主防災組織
  - ・避難所運営マニュアル
  - ・八戸市津波防災センター

## 安心で健やかな暮らし

### 【子どもの医療費助成事業】

小学生、中学生の子どもの医療費が当初の見込みを上回ることから助成金を増額するものです。

補正額：496万3千円

### 【私立保育園等支援事業】

私立保育園等の運営に必要な経費（光熱費）等が、当初の見込みを上回ることから、負担金を増額されるものです。

補正額：7,290万8千円（国）4,293万2千円  
（県）1,499万2千円（市）1,498万4千円

### 【休日・夜間急患医療センター管理運営事業】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診者が減少したことに伴い、医療収入が大幅に減少し、運営費の不足が見込まれる状況であることから、指定管理料を増額するものです。

補正額：774万5千円

### 【出産・子育て応援事業】

全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産、子育てができる環境整備が課題とされていることから、妊娠期、出産、子育てまで身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の体制を充実し、経済的支援を一体として実施するものです。

支給対象：令和4年4月1日以降に出産または妊娠届出をした人

- ① [妊娠届出時] 妊婦1人当たり5万円
- ② [出生届出後] 新生児1人当たり5万円

補正額：5,005万2千円（国）3,336万8千円  
（県）834万2千円（市）834万2千円

### 【学校給食センター管理運営事業】

学校給食センターの運営に必要な経費（光熱費）等が、当初の見込みを上回ることから増額をするものです。

補正額：844万6千円

## 委員会視察研修

自：令和4年11月9日(水)

至：令和4年11月11日(金)3日間

11月9日(水)（静岡県焼津市）

- ・東益津小学校  
小学校と公民館の複合施設の取組について

11月10日(木)（静岡県袋井市）

- ・市立中部学校給食センター  
給食センター（アレルギー対応食）の取組について  
伊万里市学校給食センターの大改修事業に伴い、食物アレルギーに関する先進地（施設）への視察研修を行いました。最新の技術と衛生管理、特にアレルギー対応食については、子どもたちの口に届くまでの一連のチェックをされていました。



11月11日(金)（愛知県蒲郡市）

- ・蒲郡市保健医療センター  
いきいき市民健康づくり事業について

## ポイント付与対象2月申請分まで

【戸籍住民基本台帳事業】

補正額：676万4千円

マイナンバーカードの普及に向けた取り組みをさらに強化するため、カード交付に係る経費が増額されました。

これまでも、申請及び交付について、市民に広く周知を行うため、新聞の折り込みチラシや市内のスーパー等で配布されるフリーペーパーに広告が掲載されてきました。

また、申請窓口の開設時間の延長や日曜開設、コミュニティセンターでの受け付け、各種会合や地域の行事等への出張受付など、あらゆる手段を駆使して普及に取り組んだ結果、現在では7割以上の申請率に達しています。

## いよいよ利用できます

【伊万里市印鑑条例及び伊万里市手数料条例の一部を改正する条例の制定について】

令和5年3月1日（予定）からコンビニエンスストアやマックスバリュ等の複合機で（午前6時30分から午後11時まで）、マイナンバーカードを使用して、住民票の写し、印鑑登録証明書、各種税証明書を取得できるようになることに伴い改正されました。

交付手数料については、生活保護を受けている方や、その他市長が必要と認める者からは免除することになっていましたが、コンビニ交付を利用される場合は、その対象者であるか確認できないため、コンビニ交付利用の際の請求については「手数料を減免しない」規定が加えられました。



## みんなで支える公共交通

【鉄道交通支援事業】

補正額：708万円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響により利用者が減少した松浦鉄道に対し、地域交通の維持及び確保のため、運行に要する経費の一部が支援されます。

また、老朽化した波瀬駅（山代町）の駅舎改修に要する経費の一部が補助されます。



## 伊万里ブランドを世界に

【シティプロモーション推進事業】

補正額：210万6千円

伊万里市への誘客促進などを目的に観光及び特産品のPRを首都圏で展開するため、羽田空港第1ターミナル出発ロビーで「伊万里プロモーションフェア」を開催するとともに、新ロゴマーク周知用ノベルティの製作のほか、首都圏や福岡都市圏での営業活動を行うための事業費です。

こうした取り組みにより、一定の成果が得られています。

本委員会は、令和4年11月28日に黒川、波多津及び大川コミュニティセンターで、地域コミュニティバスについて、聞き取り調査を実施しましたので、その結果について報告します。

## 1. 町内巡回バスくろがわ号の事業について (黒川コミュニティセンター)

事業主体は、まちづくり運営協議会で、平成30年3月より運行開始、運行業務は地元業者に委託されています。

運行コースは、黒川町内と牧島地区の早里と築港で、東黒川、夢みさき、つばき、大平山地区の4コースは月曜日から金曜日に1日3便、中心部コースについては、1日2便の運行をしており、各自治公民館が停留所となっています。

料金は、小学生以上100円、障がい者手帳を提示できる方は50円で、就学前は無料、免許自主返納者は1年間に限り無料となっています。

主な収入は、運賃及び国・市の補助金で、主な支出は、運行業務委託料と、車両の買替えのために車両の減価償却費として積み立てられています。

## 2. 波多津ふれあい号の事業について (波多津コミュニティセンター)

波多津ふれあい号の事業主体は、NPO法人まちづくり波多津で、平成28年1月より県内初の有償運送事業として運営されています。

運行コースは、東部方面と西部方面を月曜から土曜、1日交替で運行し、3便と4便は黒川町まで行くコースとなっています。また、スクールバスの対象とならない子どもたちの安全な通学環境の確保のため、昨年4月から1便増やし、登校時に利用できるようになっています。

また高齢者の買い物支援として、Aコープ九州、波多津町まちづくり運営協議会及びNPO法人まちづくり波多津が費用負担をすること

で、「帰りバス無料券」などの支援サービスが実施されています。そのため利用者が着実に増えてきている状況です。

利用料金は1乗車100円で、就学前は無料、免許自主返納者は1年間無料、1ヶ月1,000円のフリーパス券となっています。

主な収入は、運賃及び国・市の補助金となっており、主な経費は、人件費と燃料費、車両買替えのための減価償却費として積み立てられています。

## 3. コミュニティすこやかバスの事業について (大川コミュニティセンター)

コミュニティすこやかバスの事業主体は、大川町コミュニティ運営協議会で、平成29年10月から運行開始されています。

運行コースは、巡回コースと東田代線があり、月曜から金曜の1日4便で、火曜・金曜は南波多コースとなっています。

利用料金は1乗車100円で、就学前は無料、障がいのある方は50円、免許自主返納者は1年間無料となっています。

主な収入は、運賃及び国・市の補助金で、支出は、人件費、燃料費、修繕費及び車両の買替えのための減価償却費として積み立てられています。

課題としては運転手の確保と、市中心部へ移動するためには、JR筑肥線の存続が不可欠であると考えられています。



# DX推進調査特別委員会

令和4年11月4日に委員会を開催し、11月14、15、16日に委員会視察を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

## 伊万里市では

伊万里市のDX推進の現状について、市民課支払窓口を導入されたキャッシュレス決済の取り組みや現状について調査研究を行いました。

市民の利便性の向上と非接触型決済による新型コロナウイルス感染症対策として、令和4年10月20日から運用が開始されており、委員がキャッシュレス決済を体験し、その利便性を確認しました。キャッシュレス決済のメリットである現金の受け渡しがなく効率化が図られており、支払方法の選択肢も増え市民サービスの向上とともに業務効率化に繋がるものと期待されます。

## 宮崎県都城市

都城市は全国で有数のDX先進地です。DX推進の考え方として「DXは目的ではなく手段」、要するに市民サービスの向上及び市の発展が目的であること。また、「DXは市民目線で行う」、さらには「非効率をデジタル化しない」などの説明を受け、DX推進における目的についてさらに理解を深めることができました。特にDX推進については、推し進めようとするトップの強い決断と推進力が必要であり、DX推進担当の専門部署の設置が望ましいとのことでした。

また、デジタル庁に人材を派遣するなどDX推進のための人材育成にも取り組まれており、全国トップクラスの先進地であることを十分に理解することができました。

他にもDX推進には、マイナンバーカードの取得が必要不可欠であることから、官民連携による普及促進に取り組まれ、令和4年9月末で85%と全国1位のマイナンバーカード取得率となっています。取得されたマイナンバーカードを活用し

た救急搬送のデジタル化の実証業務など、各種取り組みにおいて積極的な推進が図られています。

## 熊本県熊本市

熊本市では、「市民満足度・職員満足度の高い市役所」をスローガンに、「市役所改革プラン2023」の取り組みが既に実施されており、77項目にわたる計画の達成を目指すとともに、熊本市にとって有効な取り組みの洗い出しも並行して行われています。

## 熊本県荒尾市

荒尾市では、業務の自動化等の積極的な推進が行われており、\*RPA、封入封緘機、\*AI-OCRを活用し、自動化による業務の効率化を図りながら、業務量の削減にも繋がっていました。また、DX推進によって高い効果を示す事業について、導入を検討するための調査が継続して行われています。

今回の視察において、DXはデジタル庁の創設により、自治体のデジタル活用力が問われる時代となっていることを、行政視察を通じて学ぶことができました。

本委員会においては、今後も継続してDXに対する知識を深めるとともに、視察先の先進的な事例を参考にし、伊万里市にとって有効に機能するDX推進に向け、引き続き調査・研究を進めていきたいと思えます。



(委員長) 前田 邦幸 / (副委員長) 香月 孝夫 / 前田 久年 / 松尾 真介 / 前田 敏彦 / 中山 光義

# 特別委員会 報告

2019年3月に策定された第6次総合計画の前期基本計画から4年が経過し、2023年4行いました。

める重要な指針となるため、本市議会では「伊万里市政に係る基本的な計画の策定等の手会で審議をしています。委員会において、活発な議論がなされた後、論点を絞って委員会

修正	修正理由
◎民生委員・児童委員、福祉活動員、市民活動団体及びボランティアなど、地域福祉に積極的に参加しましょう。	本市は、「伊万里市民が主役のまちづくり条例」において市民活動を推進しており、市民活動団体については明確に記載すべき。
○市が設置する留守家庭児童クラブにおいては、学校や運営委託事業者と連携し、利用者の状況に応じた受入体制や施設の整備に努めます。	ニーズという言葉が需要や要求を指すため、保護者の利便性の追求という誤解を生むのではないかという観点から、保護者及び子どもたちの状況に応じた整備をするという表現が適当。
◎地域全体で子育てを支援する意識を持ちましょう。 ◎子育てファミリー・サポート・センターへの積極的な会員登録をしましょう。 ◎地域行事等への子どもの積極的な参加を促すなど、地域全体で子どもを見守り育てましょう。 ◎子どもの安全・安心な生活の場を確保するため、学校などの関係機関や地域との連携を図りましょう。	子育て支援が重点施策でもあることから、市民の役割は一文のみで包括できるものではなく、特に必要とされる役割については明確に記載すべき。
○現在、市内のホテルの稼働率が高く空室が少なくなっている状況であり、近隣都市に宿泊している観光客を市内に誘客できるようにするための取組が必要です。	市内のホテルにおいて空室が少ない状況にもかかわらず、さらに宿泊客を呼び込むという誤解が生じる。
○リムジンタクシーの運行など、市民や観光客の利便性が高まる新しい公共交通の確保について、関係者との協議を進めます。	前期基本計画に引き続き、協議が必要である。
○生活に様々な困難を抱えた女性等が自立し安心して暮らすことができるよう、相談体制の充実や相談窓口の周知を図ります。	例示されたものは性別にかかわるものではないため、「生活に様々な困難を抱えた女性等」のみで支援の対象は明確である。



(委員長) 前田 敏彦 / (副委員長) 加藤 奈津実

盛 泰子 / 西田 晃一郎 / 前田 邦幸 / 松尾 真介 / 香月 孝夫 / 井手 勲 / 梶山 太

お知らせ

常任委員会

特別委員会

特集

一般質問

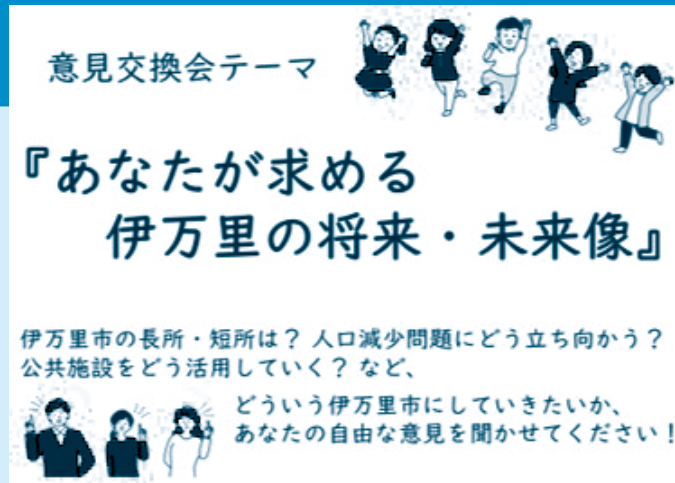


# 総合計画審査

総合計画とは、中長期的な伊万里市のまちづくりの指針として策定される計画で、今回は月からの4年間の指針となる後期基本計画を策定するため、特別委員会を設置し、審議を総合計画は必ずしも議会の議決を必要とする事項ではありませんが、伊万里市の未来を決断し、市民の視点に立った透明性の高い市政を推進するため、議論を行い、5施策について修正を行いました。

区 分		原 案	
第1節 安心して健やかな暮らしづくり	施策1 地域福祉の充実	市民の役割	◎民生委員・児童委員、福祉活動員、市民ボランティアなど、地域福祉に積極的に参加しましょう。
	施策4 子育て支援の充実	取組方針 1. 子育てと仕事の両立の支援	○市が設置する留守家庭児童クラブにおいては、学校や運営委託事業者と連携し、保護者のニーズに合わせた受入体制や施設の整備に努めます。
		市民の役割	◎地域全体で子育てを支援する意識を持ちましょう。
第3節 活気あふれる産業づくり	施策15 観光の振興	市の現状と課題 課題	○現在、市内のホテルの稼働率が高く空室が少なくなっている状況であり、近隣都市に分散している宿泊者を市内に誘客できるようにするための取組が必要です。
第4節 生活の基盤づくり	施策17 道路・交通体系の整備	取組方針 3. 公共交通機関の充実	
第6節 自立と協働のまちづくり	施策26 男女協働参画社会の形成	取組方針 4. 心豊かで健康な人生を送るための環境づくりの促進	○ひとり親や高齢者、障がいのある人、性的マイノリティなど、生活に様々な困難を抱えた女性等が自立し安心して暮らすことができるよう、相談体制の充実や相談窓口の周知を図ります。

総合計画は策定することが目的ではなく、より良いまちづくりを市民との協働により行うことが目的であるため、各施策の「市民の役割」については市民に分かりやすく伝えるための創意工夫を行うことを、委員会の附帯意見とします。



## こんな意見がありました

### 【長所】

- ・「伊万里」と言えば焼物や牛肉が有名だと知られている。
- ・肉も魚も果物も美味しい。
- ・歴史があり、焼物や黒曜石などの素材がある。

### 【短所】

- ・伊万里で働いていても伊万里に住んでいない人が多い。
- ・1か所で買い物や食事を楽しめる施設がない。
- ・面積が広いのに人口が増えず、核家族化で世帯数だけが増えていく。

### 【これからの伊万里市のために】

- ・人材の流出を防ぐために思い切った政策が必要。
- ・中小企業は大手企業に負けないような独自の人材確保策が必要。
- ・通学路の安全対策など、子どもたちが安心して登下校できるまちづくりを。
- ・小・中・高校生、子育て世代などを含め、幅広く意見を聞く場を持ってほしい。
- ・市民は自助・共助の意識を持ち、なんでもかんでも市に頼らない意識を持つ必要がある。
- ・歴史を学ぶことが伊万里を知り愛することに繋がるので、大事にしていかななくてはならない。

## 会を終えて…

伊万里市議会では、市民の代表機関として幅広い世代のご意見を求めており、特に子育て中の保護者のみなさんに市政に関心を持って頂くため、令和2年2月に市内7か所で開催した意見交換会ではテーマを「子育てしやすい伊万里にするためには」としましたが、保護者世代の参加はごく少数でした。また、今回の意見交換会では市内小・中学校及び義務教育学校の全ての保護者へ、学校を通じて約3,000枚のチラシを配布して頂きましたが、申込みはありませんでした。

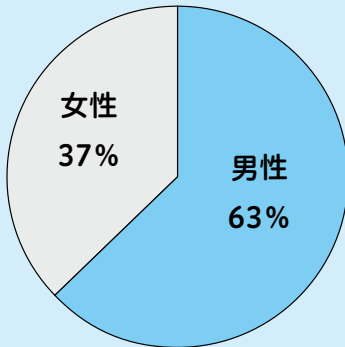
このことから、議会として報告会及び意見交換会のあり方について、根本的な見直しと検討の必要性を感じています。今後も研究と工夫を重ねていきますので、市民のみなさんからもご意見を頂けると幸いです。

# 令和4年度 伊万里市議会「議会報告会&意見

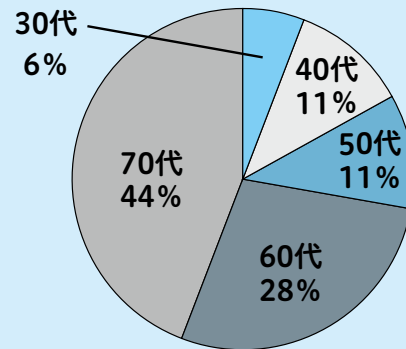
11月27日(日)に伊万里市民センター 文化ギャラリーにて開催しました。  
議会報告会及び意見交換会にご参加頂きありがとうございました。

3年ぶりの開催となりましたが、伊万里市のこれからについて市民のみなさんからたくさんのご意見をお聞きすることができました。

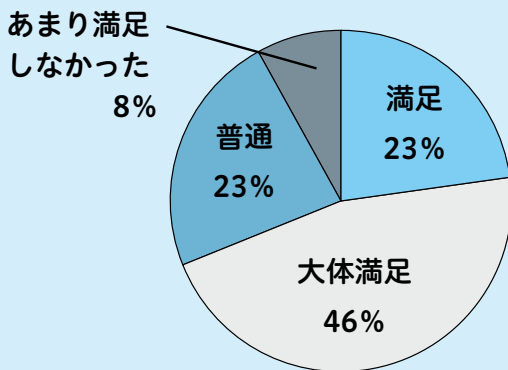
**問** あなたの性別を教えてください。



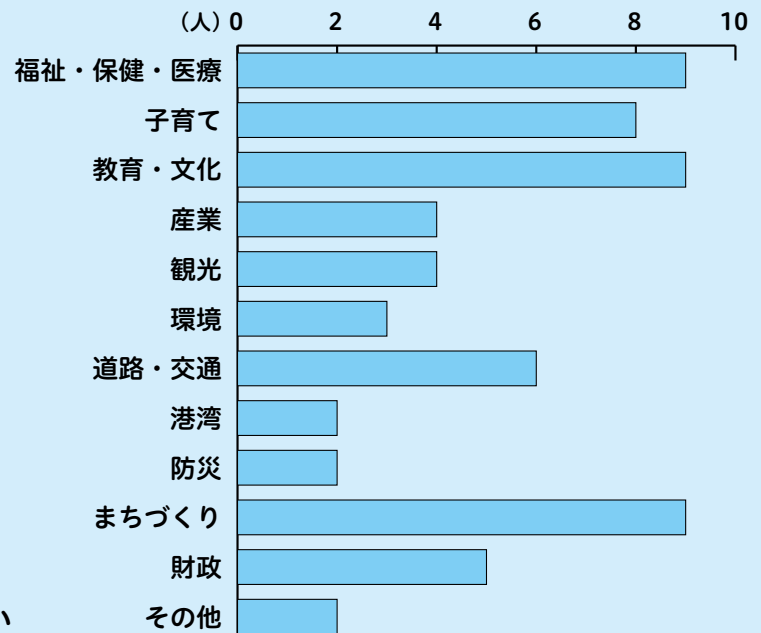
**問** あなたの年齢を教えてください。



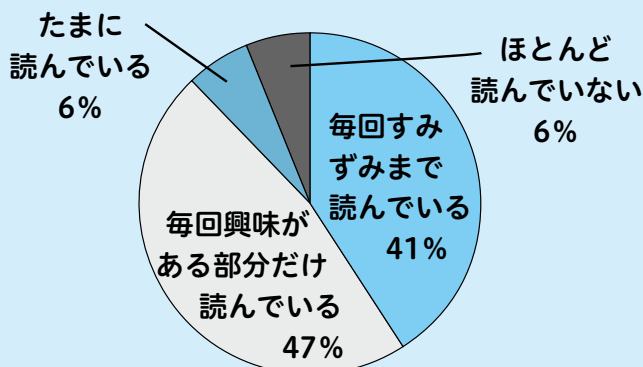
**問** 議会報告会と意見交換会の満足度はいかがでしたか。



**問** 市政のどの分野に関心がありますか。



**問** 普段、議会だよりをどのくらい読んでいますか。



# 一般質問 (質問順)

議員名	質問事項
盛 泰子	<b>1. 公共施設のインターネット予約について</b> (1)現状 (2)実施へ向けて <b>2. 総合教育会議について</b> (1)開催状況 (2)開催回数 <b>3. 原子力防災について</b> (1)10月29日に行われた防災訓練 (2)避難時における県等の役割
馬場 繁	<b>1. 下水道事業について</b> (1)公共下水道事業の整備状況について (2)農業集落排水事業の整備状況について <b>2. 合併処理浄化槽設置について</b> (1)合併処理浄化槽の設置状況について (2)維持管理費補助制度の創設について
松尾 真介	<b>1. 学校給食費の収納対策について</b> (1)学校徴収金管理システムについて (2)低所得世帯への配慮 (3)給食費の未納者への取組
前田 邦幸	<b>1. 西九州新幹線開通に伴う観光戦略について</b> (1)西九州新幹線について (2)西九州新幹線による観光戦略について (3)市内の観光地までの交通手段について <b>2. 市民会館本館跡地及び周辺施設について</b> (1)跡地及び周辺施設の現状について (2)公共建築物個別施設計画について (3)議会、公共施設調査特別委員会報告書について
加藤奈津実	<b>1. 女性を取り巻く環境について</b> (1)女性の生理的な体調変化について (2)生理の貧困について (3)学校トイレの洋式化について (4)すべてのひとがきらめく“いまり”の実現に向けて
西田晃一郎	<b>1. 学力向上について</b> (1)学校の役割 (2)家庭の役割 (3)地域の役割 <b>2. 福祉事務所について</b> (1)障がい者福祉 (2)障がい児福祉 (3)相談窓口機能

議員名	質問事項
井手 勲	<b>1. 消防団について</b> (1)伊万里市における消防団の沿革について (2)消防団の役割について (3)消防団施設への支援について (4)消防団の今後の課題 <b>2. 通学路の整備について</b> (1)通学路の安全点検の実施状況とその後対策について (2)児童・生徒に対する安全指導について <b>3. 大野岳自然公園における環境整備について</b> (1)タイワンツバメシジミの生息環境の整備 (2)自然を生かした観光施設
香月 孝夫	<b>1. 伊万里市役所庁舎について</b> (1)現庁舎の建設経緯 (2)庁舎の概要 (3)庁舎の敷地面積 (4)立花台地の開発 (5)まちづくり
前田 敏彦	<b>1. 学校給食について</b> (1)給食費の納入状況について (2)今後の給食費の方針、対応について <b>2. ヤングケアラーについて</b> (1)現在の取組状況について (2)今後の対応について
山口 常人	<b>1. 学校の新型コロナウイルス感染対策について</b> (1)現況の指導について (2)給食時の黙食について (3)ワクチン接種の状況について <b>2. 西九州自動車道の進捗状況について</b> (1)伊万里中インターチェンジ(仮称)までの状況について (2)伊万里松浦道路の進捗について (3)西九州自動車道の建設促進に向けた思いについて <b>3. 文化、伝統芸能について</b> (1)継承活動について (2)観光資源としての今後(方向性)について <b>4. 人口減少問題について</b> (1)人口流出の歯止めは (2)市としてのビジョンについて

◆市議会ホームページから一般質問の動画が視聴できます。「伊万里市議会」で検索。または、表紙の二次元コードからご覧ください。

## 公共施設のネット 予約



盛 泰子

**質問** 以前提案した市役所窓口の電子決済が始まり、利便性が向上した。一方で公共施設の予約は夜間や休日にはできず不便。ネット予約の検討を。

**答弁** 市長 市民センター長時代に検討したが、課題があつて実施できずにいた。悪徳商法の勧誘などに使われる可能性もあり、どのように審査をするかが課題。まずは施設の空き状況をネットで確認できるように、市民センターをモデルとしてやっていく。

## 総合教育会議

**質問** 市長と教育委員の協議と調整の場である「総合教育会議」は、年2回行われているが、さらなる自由な意見交換や時代の流れに即応するため、回数を増やしてはどうか。

## 総合政策部長

**答弁** 日頃から連携、調整を図っており、定例会の増ではなく、必要があれば臨時会で対応する。

## 原子力防災

**質問** 10月29日の原子力防災訓練には南波多・黒川・波多津の皆さんのご参加と、武雄市の協力で無事に終了した。政務活動費で大学生に全国の「地域防災計画 原子力災害対策編」を調査してもらったところ、鳥取県は原発立地県ではないにも関わらず、県が主体となつて対策を講じていた。佐賀県の計画では、伊万里市など避難を余儀なくされる自治体側の負担が大きすぎるため、佐賀県に積極的な関与を求めざるべき。

**答弁** 市長 県や避難先自治体の取り組み内容において、鳥取県は佐賀県と違う点があり、他県の取り組みも共有して、より良いものにしていく必要がある。★GM21や市長会などの折にでも、原子力防災について県の関わり方などについて話をし、市民の安心安全の確保に努めていきたい。

★GM21…Gは「ガバナー(知事)、Mは「メイヤーズ(市町長)」を意味し、佐賀県内10の市長と10の町長、それに知事を合わせた21人が一堂に会し、地域の課題等について自由に意見交換をする場のこと。

## 下水道事業について



馬場 繁

**質問** 市が管理している①公共下水道事業②農業集落排水事業の令和3年度末の整備状況は。③水洗化率向上の対策は。

**答弁** 上下水道部長 ①普及率は56・27%で水洗化率は97・28%である。②井手野地区は普及率1・35%で水洗化率は96・64%である。宿地区は普及率1・87%で水洗化率は82・96%である。③水洗化率向上の対策は職員による戸別訪問を行っていたがコロナ発生以降は未接続者に文書による接続勧奨を行っている。

## 合併処理浄化槽設置について

**質問** 合併処理浄化槽の設置済み総数及び法定検査の実施状況は。

**答弁** 上下水道部長 令和3年度末で2236基(内家庭用1858基)が設置済みで普及率は15・53%である。法定検

査の実施率は86・05%となっている。

**質問** 「浄化槽の維持管理費補助制度」は、浄化槽維持管理費が受託業者からの値上げ通知に伴い費用負担の公平を図るため「浄化槽の管理費(年額)」から「下水道使用料に換算した金額(年額)」を減じた「金額」を補填するといふ補助制度を創設できないか。

**答弁** 上下水道部長 提案の補助制度は、市の単独事業となると財政負担が大きく制度の創設は難しいと思う。

**質問** 市民は等しく行政サービス享受する権利を有しているが、人口減少とともに市の周辺部は高齢化率が進む中、この地域が浄化槽設置対象区域であり、市長として等しく行政サービスを提供することについての考えは。

**答弁** 市長 広い地域の全てを公共下水道に依存するのは厳しく、私も浄化槽は公共下水道や農集排水の使用料より維持費がかかっていることは分かっているが、新しい補助制度を市単独で考えるのは厳しく新設にあたり今後の方針、また先ほどからあつている維持補修に係る補助金等についても国県へ要望をしていきたいと考えている。

## 学校給食の収納対策について



松尾 真介

**質問** 本年度から学校集金管理システムが運用されているが、当システムはどういった目的で導入し、その効果はあったのか。

**答弁** 教育部長

現金徴収の場合の紛失リスクやトラブル回避、教職員の事務負担軽減を目的としている。学校現場からは、かなりの効果があったとの回答を得ている。

**質問** □座振替の登録率と実際の振替率は。

**答弁** 教育部長

□座振替の登録率99・61%、□座振替率96・41%となっている。

**質問** 低所得世帯への補助制度と認定者数は。

**答弁** 教育部長

学校給食費8割補助の就学援助制度があり、認定者数は市内児童生徒数の11・9%で537人となっている。

**質問** 給食費未納者への取組みは。

**答弁** 教育部長

学校、教育委員会の取組み、催告書の発行、児童手当からの充当など従前からの取組みの他、今年度から児童手当からの充当をスムーズにするため、全保護者から充当申出書を事前に徴収している。

**質問** 他市では、通常取組みで滞納が解消されない場合、弁護士に依頼して支払い督促や訴訟などで給食費を徴収している。中央教育審議会は2019年1月、「学校給食費などの未収金の督促なども含めたその徴収・管理については、基本的には学校・教師の本来の業務ではなく地方公共団体が担っていくべき」と答申したが伊万里市ではどう考えているか。

**答弁** 教育部長

伊万里市では給食費の徴収や食費支払は伊万里市学校給食運営委員会が実施している私会計であり、直接的な債権者は運営委員会になり裁判で解決していくことになるが現実的でない。また市長が債権者として法的措置を実施するのも困難と判断している。ただし、保護者負担の公平性を確保するためには給食費の滞納問題は看過できない状況なので、支払い督促などの法的措置も速やかにできるよう公会計化を含めて検討していく。

## 西九州新幹線開通に伴う観光戦略について



前田 邦幸

**質問** 西九州新幹線の開通に対して、どの様にして福岡や長崎から観光客を呼び込むのか。

**答弁** 市民交流部長

西九州新幹線開通は冷え込んだ観光業界にとって明るい話題であり、JRと佐賀県・県内自治体と観光関係団体とで佐賀県デザインেশヨンキャンペーン推進協議会が組織された。市としてはこの協議会、伊万里観光協会を含めた市内の観光団体と連携する事で福岡都市圏だけでなく、全国に向けた誘客のプロモーション活動を集中的に展開していく。

**質問** 沿線自治体の武雄市・嬉野市・有田町との連携が必要と思うが、市の考えは。

**答弁** 市民交流部長

西九州新幹線を最大に活用するには沿線自治体、嬉野市・武雄市・有田町との連携を密にした取り組みが重要である。

**質問** 伊万里駅から市内の観光地までの交通手段等が一目で分かる観光アプリが出来ないか。

**答弁** 市民交流部長

観光客等からの問い合わせの時はグーグルマップや佐賀県観光連盟の無料アプリ「佐賀トラベルサポートどがんとした」とを紹介している。

## 市民会館跡地及び周辺施設について

**質問** 公共建築物個別施設計画に掲載された市民会館本館及び周辺施設の整備の方針は。

**答弁** 総合政策部長

市民会館及び周辺施設は、約10年後に複合化にて建て替えを計画している。

**質問** 昨年度、公共施設調査特別委員会の報告書を受けて市はどう考えているのか。

**答弁** 総合政策部長

報告書には、「市民の様々な意見があるため、今後のまちづくりも踏まえ、有効活用できるような十分な検討をする事」広く市民の意見を求め、利用する市民へのサービスが低下しないよう配慮すること」と記載されている。この意見を尊重し、検討している。

## 女性を取り巻く環境について



加藤奈津実

**質問** 市職員における生理休暇の取得人数は。

**答弁** 総務部長

令和元年度が3名、令和2年度が7名、令和3年度が3名。

**質問** 200名以上の女性職員がいてほぼ取得されていない現実がある。職員の健康管理及び病気の早期発見のためにも、正しく利用されるように名称変更や他生理的疾患を含める等の検討が必要と考えるか。

**答弁** 総務部長

今後、国においても検討が必要な分野。必要な時に休める職員体制や理解等の環境整備、労働組合との意見交換をしながら職場づくりをしていかなければと考える。

**質問** 個室トイレへの生理用品設置活動をされている団体・CFTいとしまにより、令和4年7月に市内の女子児童生徒を対象に、生理についてのアンケートが実施さ

れた。多くの子どもたちが学校での生理時に不安やストレスを感じていることが分かったが、結果を受けての学校からの反応は。

**答弁** 教育長

アンケートを実施して頂いたことで、子どもたちがなかなか声に出せないことを意思表示できたことは非常に大きい。現在6校が個室トイレに生理用品を設置しているが、結果を受けて新たに5校が検討している。

**質問** アンケートの回答に、ナプキンを交換しづらいのでトイレを洋式化してほしいという声があった。これまで考えられてこなかった視点だと思う。職員用トイレが全て和式の学校も多く、先生方もご不便を強いている。また、生理時に快適に使える環境という視点で考えると、個室に小さな棚ひとつあればどれだけ助かるかと思う。このような視点も踏まえた上で、今後の洋式化計画は。

**答弁** 教育部長

今年度より児童生徒用トイレを優先し、洋式化に取り組んでいる。職員用トイレについても必要性は認識しているので、洋式のない学校については児童生徒用に並行して取り組んでいきたい。

## 学力向上について



西田晃一郎

**質問** 児童生徒が主体的に学習に取り組むための授業改善の研修内容は。

**答弁** 教育長

伊万里市学力対策研修会を開催し「各教科での児童生徒が苦手としている傾向が見られる問題を知ること」、「児童生徒が、どのような問題で、どのような間違いをしているのかの誤答分析」を行った。

**質問** 家庭学習の定着支援は。

**答弁** 教育長

県教育委員会は、全家庭に「家庭学習の手引き」を配布している。また、市小中学校連合PTAは「家庭教育宣言」を配布している。そして、家庭学習の習慣化を呼びかけている。ゲームやSNSや動画視聴の時間を減らし、家庭学習につなげることができればと考えている。

**質問** 子どもたちの自己有用感を高めるために地域の大人たちに期

待する役割は。

**答弁** 教育長

コミュニティスクールの取り組み事例として、啓成中学校区のテカピカ運動がある。このような活動を通して、自分が人や町の役に立っている事を自覚してほしい。そのためには、周りの大人たちが褒める、そして、認める。そういった声かけによって、子どもたちの自信につなげてほしい。

**質問** 学習支援団体との連携は。

**答弁** 教育長

子どもたちの成長のためにも、活動されているNPO法人とも連携して、歩んでいきたい。

## 福祉事務所について

**質問** 平等かつ公平な窓口となるためには。

**答弁** 市長

これまで、相談体制の充実を図るため専門的知識や資格を有する職員を配置している。また、すべての職員が相談者の抱える課題の背景や心身の状況に理解を努めながら相談に応じている。今後は、市民からの不満の声がなくなるよう相談内容の情報の共有や接遇研修等により、これまで以上に人権も意識した対応に努めたい。

## 消防団について



井手 勲

**質問** ①消防団は、地域防災力の中核として地域に密着した活動に長年に渡り従事し地域の安全・安心の為に寄与されている。常備消防とは異なる役割や特性を生かした組織作りを、どう推進するか。  
②消防団の詰所、積載車格納庫の整備費用の支援について。

**答弁** 理事

①消防団は消火活動だけでなく、要救助者の検索や給水活動、危険箇所の警戒など、地元の事情に精通している地域密着性と要員動員力、即時対応力を併せ持つ消防団の役割や期待は高まっており、団員の確保に向けた取り組みを推進し、消防団の災害対応能力の向上に繋がる資機材の充実強化や、専門知識習得の為、研修、教育機関への派遣等を実施し、より地域愛を持つ団員の育成・確保に努める。

②昭和52年に制定した「伊万里

市消防施設整備事業補助金交付要綱」に基づき、トイレの設置を考慮し100万円、また部の再編・統合の場合150万円としている。

## 通学路整備について

**質問** ①全国的にも通学路の安全対策が急務となっているが本市の通学路点検実施状況とその後の対策②児童、生徒への安全指導は。

**答弁** ①教育部長 ②教育部長

①「伊万里市通学路交通安全プログラム」に沿って各学校で実施。危険箇所を把握、道路管理者や警察と合同点検を行い、協議の上危険箇所の解消に努めている。②登下校時の安全指導については日常において帰りの会で行っている。「ハンドサイン」は極めて有効であり、今後も普及活動に努める。

## タイワンツバメシジミの生息環境の整備について

**質問** 大野岳には、絶滅危惧種のタイワンツバメシジミが生息して境が悪化している。早急な対応が必要と思われるが。

**答弁** 教育部長

補助対象として検討したい。実施内容や事業期間を地元と十分協議し対応したい。

## 伊万里市役所庁舎について



香月孝夫

**質問** 現庁舎の建設経緯は。

**答弁** 総合政策部長

現庁舎は昭和39年に庁舎建設に向けて議論開始。昭和43年5月に立花台に建設で諮問。大学計画が中止され広大な敷地確保ができるなど総合的な見地から適地とされ、昭和45年3月に市議会において正式決定された。

**質問** 庁舎の敷地面積は。

**答弁** 総合政策部長

駐車場等を含め約41000㎡。

**質問** 敷地の広さは適正なのか。

**答弁** 総合政策部長

他市と比較し一概には言えないが、駐車場等確保でき適当である。

**質問** 立花台の現状は。

**答弁** 総務部長

本市の人口減少が著しい中、宅地開発が進む立花町のみ人口が増加している。

**質問** 人口分散などの考えは。

**答弁** 総務部長

都市計画的にはコンパクトシティの位置づけになるが、市街地の健全な形成が求められている。伊万里駅を中心とした活性化を図るため、人口の分散化も含む各種の施策を展開中である。併せてまちづくり活動を通じ、周辺地域を置き去りにすることはない。

**質問** 市内中心域への庁舎移転は有益な考えだと思うが。

**答弁** 総合政策部長

議会の公共施設調査特別委員会の報告では、防災面において現地建替えが妥当である旨の報告もあり、重く受け止めている。現在は学校の統廃合の懸案事項を最優先に考え、検討に向けた道筋をつけたい。

**質問** 市庁舎移転について、市長の考えは。

**答弁** 市長

民間事業者と連携して、庁舎のまちなか移転は一つの考え方として持っている。相手方などとの条件整備を整えていきたい。令和20年を目標に庁舎の建替えを想定している。公共施設整備基金に毎年2億円を積み立てる予定だが、学校の施設等整備を優先的に進め、伊万里駅を中心とした市街地の再開発など、新たなまちづくりを進めていきたい。



## 学校給食について



前田 敏彦

**質問** 今年度から、全小中学校で給食費を含む学校徴収金を子どもに持たせず、口座振替に移行したが、給食費の納付に影響はないか。

**答弁** 教育部長

給食センターでの給食費納付率は、98・5%で、昨年度と比較し移行による影響はほとんどない。

**質問** 全国的に、物価高騰による給食費の値上げが予定・検討されているが、伊万里市は来年度以降、どのように対応するのか。

**答弁** 教育部長

学校給食運営委員会で、来年度からの値上げを協議している。

**質問** 値上げが決定した場合、子育て支援として値上げ分だけでも、市で負担することが出来ないか。

**答弁** 市長

今後も給食センターの運営経費は増える見込みであるが、給食費の値上げに対して、激変緩和のための支援を検討していく。

## ヤングケアラーについて

**質問** ヤングケアラーとは、病気や障がい、また、精神的な問題を抱える親や祖父母などの世話、家事や幼い兄弟の世話などを日常的に行い、自分の時間が取れず子どもらしい生活を送ることができない子どものこと。まだまだ、社会的認知度や問題意識が低く、当事者である子どもたち自身も、知らない・聞いたことがないというのが現状。今後のヤングケアラーの問題についての取り組みは。

**答弁** ①健康福祉部長、②教育長

①社会的認知度が低い、関係機関と協力し効果的な周知を行い、研修等に積極的に参加し適切な対応ができるよう、関係機関と研鑽を図っていく。また、子ども目線で相談しやすい環境を検討する。

②関係者や周りの人が、意識を持って気付くことが大事である。

**質問** まずは、実態把握のための、ヤングケアラーに特化したアンケート調査が必要ではないか。

**答弁** 市長

アンケート調査は必ず実施するべきであり、また、ヤングケアラー対策についても、今後は非とも進めていきたいと考えている。

## 学校の新型コロナウイルスウィルス感染対策



山口 常人

**質問** 今年の年始めから小中学生を含む若年層の感染者増があり、現在学校現場としての感染対策はどうされているか。

**答弁** 教育長

全国的に感染者が増加している中、学校においては、できる限りマスク着用推奨、手や指、校内の消毒を徹底し、定期的な換気の実施を指導している。

**質問** 給食時の黙食については。

**答弁** 教育長

学校における教育活動の留意点について、机の配置の工夫や適切な換気の確保等の措置を講じた場合においては、児童生徒等の間で会話を可能とする。以上の対策をした上での給食時、会話を実施できる様になった。

## 西九州自動車道の進捗状況について

**質問** 伊万里道路の進捗状況は。

**答弁** 建設農林水産部長

事業進捗率が43%、用地進捗率が約94%であり、順調に改良工事等が進められている。

**質問** 伊万里松浦道路の進捗状況はどうか。

**答弁** 建設農林水産部長

事業進捗率約63%、用地進捗率62%であり、現在調査設計、用地買収及び用地管理工事が進められており順調に進めている。

## 人口減少問題について

**質問** 人口流出の現状を伺う。

**答弁** 総合政策部長

若い世代の流出が大きな課題であるので、その歯止めの対策を効果的に実施していく。

**質問** 今後の取り組みについて。

**答弁** 市長

若い世代の人口流出については私の思いの中に強いものがあるが、人材の育成を含めて高等教育機関の誘致については、実現に向けて特に力を注いでいく。



# 新年ごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も前年から続いた、新型コロナウイルス感染症の拡大が私たちの生活に大きな影響を与えました。今年の卯年は、今までの新型コロナウイルス感染症による、生活や経済の冷え込みから大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になってほしいものです。

昨年の世相を表す漢字一文字は「戦」でありました。一日も早い、新型コロナウイルス感染症との戦いに勝利することを信じ、本年が市民の皆様、本市にとりまして幸多き、良き年となりますことをご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

議長 坂本 繁 憲



## 編集後記

この4年間、広報広聴委員会として「市議会豆知識」などの新たな試みを重ねて参りました。ご意見をお寄せくださった方々には心より感謝申し上げます。

一方で、「傍聴席からはモニターの画面が全く見えない」とのご連絡を受けました。モニターは本会議場の側面の壁に設置しており、自分たちからは見えていたため、全く想定外のことでした。傍聴を呼び掛けながら、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

4月には県議選、市議選があります。あなたの一票を大切に！必ず投票に行きましよう！

(盛 泰子)

### 広報広聴委員会

(委員長) 加藤 奈津実  
(副委員長) 西田 晃一郎  
盛 泰子 川田 耕一  
山口 常人 中山 光義  
前田 敏彦

(発行・ご意見)

伊万里市議会  
伊万里市立花町1355-1  
TEL0955-23-2594  
FAX0955-22-1277  
E-mail:gikai@city.imari.lg.jp

(編集) 広報広聴委員会

(印刷) 株式会社エワン